

9. 四国（地域別調査機関：四国経済連合会）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般小売店〔書籍〕（営業担当）	お客様の様子	・来店客の動きが、以前なら欲しくても買わずに我慢していたのが、欲しい商品の値段が安ければ買うという動きに変わってきている。
		百貨店（売場主任）	販売量の動き	・10月に入りビジネスマン等の衣替えも始まり、購買意欲は非常に高くなってきた。特に、中・高級価格帯のスーツの売上が好調である。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・9月は残暑の影響で、初秋物が非常に厳しかったが、10月に入り気温が急に低下し、また、衣替えも重なったため、かつてない勢いで来客数が増加している。
		家電量販店（営業担当）	販売量の動き	・映像関連商品は、店舗により差はあるものの、10～60%ほど予想を上回る販売があった。しかし、それ以外の商品ではパソコンの在庫不足の影響もあって、すべての商品で前年割れとなり、販売量は10%以上のマイナスとなった。
		乗用車販売店（営業担当）	来客数の動き	・10月の売上が、対前年比116%と伸張した。
		観光型旅館（経営者）	単価の動き	・来客数は増加していないが、お金の余裕のある人は、それなりに高い料金の部屋を利用する傾向に変わってきている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・東京行きの航空券、ホテル予約などの売上は順調に推移している。また、行楽シーズンに入り、1泊2日程度の社内旅行や、グループでの海外バック旅行なども増加している。
		観光名所（経営者）	来客数の動き	・客単価は低下しているが、観光客数が増加しており、売上は5%ほど増加している。
		ゴルフ場（従業員）	来客数の動き	・10月は3か月前と比較し、週末の予約状況も良い。季節的要因も考えられるが、それ以上に来客数が多く感じる。
		その他住宅〔不動産〕（経営者）	お客様の様子	・中古住宅や住宅用地が急に売れてきた。市街化調整地域の解除を見越した住宅用地の一段の値下がりや、株価上昇による好況感が心理的に影響していると思われる。
	変わらない	商店街（代表者）	来客数の動き	・直近の通行量調査によると、商店街全体では下げ止まりという結果が出ているが、各店への来客数は減少し続けている。
		一般小売店〔生花〕（経営者）	単価の動き	・客は、相変わらず出費を控えめにしている。特に、単価の安い商品が売れる傾向にある。
		百貨店（総務担当）	お客様の様子	・必需品以外の売行きは依然として厳しい。客単価も低下傾向にあり、アクセサリ売場のプライダルの婚約指輪も、平均客単価は昨年30万円であったが20万円程度に低下している。
		百貨店（営業担当）	それ以外	・前年のプロ野球チーム優勝セールで、来客数、売上ともに前年比で若干の減少となった。商品内訳を見ると、紳士用品、ブランド商品群が好調で、雑貨、小物類、婦人用品も前年並みに推移したが、食品は前年に引き続き苦戦した。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・6か月前の競合店開店の影響で、来客数は前年に比べ3～4%減少している。ただし、客単価は横ばいである。
		衣料品専門店（経営者）	お客様の様子	・秋冬物シーズンの到来で、ミセス専門店では来客の動きが多少活発になってきたものの、ヤング、キャリアを含めた全体の動きに大きな変化はない。引き続き、商品購入には慎重な態度が見られ、単品買いが多く、セット販売につながっていない。
		スナック（経営者）	単価の動き	・お気に入りの高くても良いお酒を注文する客も一部にはいるが、多くの人は焼酎とか単価の安いお酒を注文しており、全体としては変化はみられない。

		タクシー運転手	お客様の様子	・空港へはシャトルバス等の利用が、また、病院やデイサービスセンターへは、デイサービス専用車両での移動が増え、タクシー利用度は減少している。夜間は、経費・給料削減の影響で、1か月3回の利用が1回になっている。ただ、週末は土曜日を中心にヤング層の利用が多い。
		タクシー運転手	来客数の動き	・相変わらず客が減っている。夜間も飲みに出る人が極端に少ない。客数の減少と、長距離、中距離利用の客がほとんどいないことで、売上がどんどん落ちている状況である。また、お寺参り客も今がシーズンだが、昨年、一昨年に比べると減少しており、収入も相当落ちている。
		設計事務所（所長）	販売量の動き	・マンションに売れ残りが出ている様子である。
		住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・最近、住宅ローン金利が上昇したが、3か月前と比較しても商談数は変わらない。
やや悪くなっている		スーパー（店長）	単価の動き	・客単価が更に落ち込んでいる。
		スーパー（統括担当）	来客数の動き	・来客数は減少していないが、1人当たり来店回数が1週間3回から2回へ減少している。
		スーパー（企画担当）	来客数の動き	・来客数は対前年比1%、客単価は対前年比1.4%それぞれ減少した。
悪くなっている		一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・昼間の人の流れには変化は見られないが、夕方以降はまるっきり人の流れがなくなってしまう。
企業動向関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	食料品製造業（従業員）	受注量や販売量の動き	・現在、新商品の売上が伸びており、2、3か月前より販売量が増加している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・新商品の受注量が、OEMを含めて少しずつ増加してきた。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・今、海外向け通信・メディア関係からの受注があり、忙しい。
		建設業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・大型スーパーの出店が決定し、受注額はほぼ前年並みに回復してきた。
		通信業（営業担当）	それ以外	・量販店、大手スーパーマーケットのマネージャーを訪問し商談すると、店のリニューアルを考えており、それに合わせて、店舗間のネットワーク化についての相談が多くなってきた。
		公認会計士	取引先の様子	・取引先の先月の月次試算表を見ると、前年比で若干改善されている。業種によっては悪いところもあるが、平均的には上向いている。
変わらない		輸送業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・景気は良くも悪くもない状況だが、荷動き状況は決して良くない。
		金融業（融資担当）	取引先の様子	・取引先の売上、利益率とも回復せず、厳しい状態が続いている。
		広告代理店（経営者）	取引先の様子	・不動産関連の広告出稿が非常に少ない状況である。広告しても売れない、売れないから広告しない、という悪循環から脱出する方法を模索するのみである。
やや悪くなっている		繊維工業（経営者）	取引先の様子	・店頭での売上は相変わらず好転しておらず、原材料等の仕入先の生産量も増加していない。
悪くなっている		-	-	-
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・企業業績が比較的好調に推移していることから、即戦力の人材をお金をかけても採用したいという企業もあり、求人数は3か月前と比較し、少し良くなっている。
	変わらない	職業安定所（職員）	求人数の動き	・新規求人は、製造業、サービス業、卸・小売業、飲食店で増加したため、当月は前年同月比が再び増加に転じた。ただし、派遣請負契約社員等の非正規従業員等の新規求人が主である。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・パートを含む新規求人は、前年同月比で4.8%のプラスとなったが、期限付雇用の求人が増加するとともに、賃金等、労働条件面も悪化しており、改善に向けた力強さは感じられない。

	職業安定所（職員）	雇用形態の様子	・有効求人数は増加したが、パート、派遣請負等の求人伸びの影響と見られるため、改善したとはいえない。
	学校〔大学〕 （就職担当）	採用者数の動き	・最近、企業には人材派遣センター等から必要な人材を採用する傾向が広まりつつあり、新卒者の採用については、あまり進展していない。
やや悪くなっている	求人情報誌製作 会社（従業員）	求人数の動き	・製造下請関係の企業では、求人数が増えているが、それ以外の業種は依然低迷している。
悪くなっている	-	-	-